

年頭のあいさつ

今年も全力で

頑張ります

市長 岡村 幸四郎



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、平成22年の清々しい新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年本市では、100年に一度ともいわれる世界的な経済不況の影響を踏まえ、市内のセーフティネットを充実させるべく、1月に不況対策・生活支援緊急対策本部を設置し、中小企業や労働者の方々に対して50億円規模の融資をはじめとする、さまざまな支援策を実施いたしました。

そうした厳しい社会情勢の下、4月には自治体の憲法といわれ、今後の市政運営の根幹を成す「川口市自治基本条例」を施行する一方で、子ども医療費の支給対象の中学校卒業時（入院ま

での拡充、後期高齢者医療制度における歯科ドック検診料の助成を行い、さらに10月には、存続が危ぶまれている都市農業の復権と再生を目指した「都市農業サミット」を東京で開催いたしました。これらのソフト事業とともに、南平消防分署の建て替えなどのハード事業も実施するなど、幅広い事業を展開することができました。

これらはひとえに、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めまして心から感謝と御礼を申し上げます次第です。

本年も、厳しい財政状況下ではありますが、新年早々に障害者や妊産婦などの方々のための「おもいやり駐車場」制度を実施するとともに、昨年に引き続き、不況対策・生活支援緊急対策を

はじめ、産業の振興、福祉、教育、環境、都市基盤整備等々の諸課題に誠心誠意取り組んで参る所存であります。また昨年末、本市と鳩ヶ谷市の任意合併協議会が設置されましたが、合併問題は、県南地域の将来にかかわる重要課題でありますので、原点到ち返り、しっかりと議論を重ねて参りたいと存じます。

まずは市民生活の安定と中小企業の経営の安定を第一に、今年も全力で頑張って参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、この新しい年が、市民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

魅力と活力にあふれた
社会の実現に向けて

議長 岩澤勝徳



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年12月市議会定例会におきまして、議長に就任いたしました、岩澤勝徳でございます。市議会を代表いたしまして、謹んで新春のあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市におきましては、3月市議会定例会において、市民の皆様にも参加していただき、検討を重ねてまいりました「自治体の憲法」ともいわれ、市の最高規範として位置付けられる「川口市自治基本条例」が慎重に審議のうえ、可決、成立いたしました。一方、本市議会におきましては、議員活動の一環である政務調査

費の収支報告書及び領収書等に対して、より透明性を高めるよう整備するなど、市民の皆様信頼される開かれた議会を目指し、公平、公正な議会運営に努めているところでございます。

さて、地方分権改革が進展するなか、地方自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大し、これからは、まさに地方の時代となり、議会の果たすべき役割はますます重要となつてまいります。私ども市議会といたしましても、市民の皆様への期待と信頼に応えるために、また機能を十分に発揮していくためには、議会制度の改革が不可欠であると考へております。今後につきましても、議会改革小委員会等におきまして議論を重ね、改革に取り組むべく一層の努

力をしてまいりたいと存じます。

新年を迎えるにあたり本市議会といたしましては、市政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員活動にまい進するとともに、新しい時代にふさわしい魅力と活力にあふれた社会の実現に向けて、誠心誠意努めてまいり所存でございます。市民の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、新しいこの一年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。